

山田みやこの活動報告

令和元年10月31日(水)

生活困窮者自立支援事業の中の学習支援について

場所 那須塩原市キャリアコーチ

県北地区 那須川町・那須町・高根沢町・塩谷町の4町で学習支援に携わっている団体と、県から事業委託を受けているキャリアコーチの担当者と今後の課題を整理し、来年度に向けて県への要望をまとめるための話し合いに参加した。

☆栃木県学習支援事業の現状と課題

- ①他県では予備校などの事業参入を進めている
- ②県予算全体が削減の方向



☆県北学習支援事業の今後の課題

①福祉的側面の充実

行政・教育委員会・ボランティア団体・適応指導教室・福祉相談センターとの連携により「ケース会議」を開催し、子どもを取り巻く問題や貧困についての研修、社会資源の把握などを行う。

②発達障害児の受け入れ方針を明確にする

③不登校生徒への対応を明確にする

教育委員会と連携し、教育の機会を確保し内容を充実する。

④高校生への学習指導技術の充実

⑤地域福祉の事業という位置付けで町が主体的に運営できるよう、移行期間を定め事業の改革を図る。

送迎や学校の協力で不登校・ひきこもり・発達障害児の支援の充実やヤングケアラー問題など。

⑥町や地域が主体的に関われるよう学習支援事業の設計見直しを県に働きかける

意見交換の中で学習支援を入りにヤングケアラー問題、経済的な困窮を抱える子ども達への支援の充実を図ることが早急に求められることを実感した。